



校長室より



令和6年11月11日

No.21

自分らしく生きる 豊かに生きる

合同避難訓練、防災スクールを実施しました

11月5日は、170年前の「稲むらの火」の史実をもとに、『世界津波の日』と制定されています。今年は、元旦から能登半島地震、お盆前には日向灘地震と大きな地震があり、来るべき南海トラフ地震に備えるための危機意識が高まりました。今年で三年目になりますが、近隣の太陽作業所とくろしお保育所と本校とで委員会を立ち上げ、美浜町の協力も得て、地元の自治会にも呼びかけての合同の地震津波避難訓練が、11月7日(木)に実施されました。

学校では玄関のドアが壊れて通行不可という設定で、校舎を巻きながら和歌山病院新病棟の非常階段を上がり5階屋上まで避難しました。南海トラフ地震で予想されている津波到達時間は20分です。今回の訓練では、地震発生から9分53秒で全員が避難することができました。自分の命は自分で守れるように、訓練を続けていってほしいと思います。

その後、二学部高等部生徒と職員は、陸上自衛隊和歌山駐屯地（美浜町和田）から3名の陸上自衛官を講師として招き、防災スクールを実施しました。自衛官の方からは、ロープワークとして、正しいロープの結び方や節結びの作り方を学びました。また、竹と毛布で担架を作る方法も教えてもらいました。今回の機会は、使える防災術のノウハウを楽しく学べるものとなったと思います。今後も生徒の皆さんには、防災への関心、備えの大切さとともに、防災に関するいろいろな知識や技術を身に付けていってほしいと思いました。

